

新製品

胃痛を訴える患者さんは増えています。



胃の壁細胞に存在する胃酸を分泌するタンパク質であるプロトンポンプ (H⁺-K⁺ATPase)の活性を阻害することで、胃酸分泌を抑制します。



胃痛症状を訴える患者さんに、この製品を。

胃痛患者さんに、新製品を。



シナリオ⑤ 問題点 〈副作用の省略〉

- 最初に若い女性のことについて話しており、若い女性にも使いやすい印象を受けるが、このお薬は妊婦や妊娠する可能性がある患者さんには禁忌だった。



- 副作用のリスクを説明されていない。
- 若い女性にも使いやすいという印象によって、禁忌などを確認せず、勘違いしたまま処方をしてしまう危険性がある。

企業にとって良いように印象づけて説明することがあります。
思い込みをしないように冷静に判断しましょう。

シナリオ⑤ 副作用の省略

【問題点】

- 最初に若い女性のことについて話しており、若い女性にも使いやすい印象を受けますが、実際このお薬は妊婦や妊娠する可能性のある患者さんには禁忌でした。こういった危険性を説明していません。
- 若い女性にも使いやすいという印象によって、禁忌などを確認せず勘違いしたまま処方をしてしまう危険性もあります。
- このように企業は製品説明をする際にこういった印象操作をすることがあります。使いやすい薬だと思いつまらず、本当に使いやすい薬なのか冷静に判断するようにしましょう。

6. 副作用の軽視

注意！

- 副作用がでて、薬を飲み続けることで副作用がおさまらず、効果のほうが上回るといった説明が行われることがあります。

シナリオ⑥ 副作用の軽視

■ シチュエーション：薬局

薬剤師 そちらの企業の統合失調症の治療薬を患者さんに使用しているのですが、体のだるさなどを訴える患者さんがいまして、治療を中断してしまうケースが多くなっています。どう対応したらいいでしょうか？

MR こちらのお薬は眠気やだるさなどといった副作用がありますが、**このお薬を飲み続けると、副作用よりも有益性の方が上回ります。次第に軽減するため、副作用が出て、飲み続けることが大切です。**



シナリオ⑥ 問題点 〈副作用の軽視〉

- 薬を飲み続けることで副作用がおさまりに、効果のほうが上回るといった説明が行われた。これは副作用を軽視しており、患者さんに不利益が生じる危険性がある。



- 全てがこれに当てはまるわけではない。
例) 糖尿病治療薬のオランザピンによる高血糖 → 注意する
ピロリ菌除菌薬による下痢 → 飲み続ける場合が多い など

薬の種類や患者さんの状態によって副作用にどう対応すべきかが変わるため、医師と相談しながら、臨機応変に対応しましょう。

シナリオ⑥ 副作用の軽視

【問題点】

- 薬を飲み続けることで副作用がおさまり、効果のほうが上回るといった説明が行われていました。これは副作用を軽視しており、患者さんに不利益が生じる危険性があります。
- しかし、全てがこれに当てはまるわけではありません。例えば、糖尿病治療薬のオランザピンによる副作用である高血糖は注意をしないといけないが、ピロリ菌除菌薬による副作用である下痢が出た場合は、しっかり除菌をしないといけないため副作用が出ても飲み続ける場合が多いです。
- このように薬の種類や患者さんの状態によって副作用にどう対応すべきかわ変わるため、医師と相談しながら、臨機応変に対応しましょう。